

『東京都民の気候変動に関する意識調査』

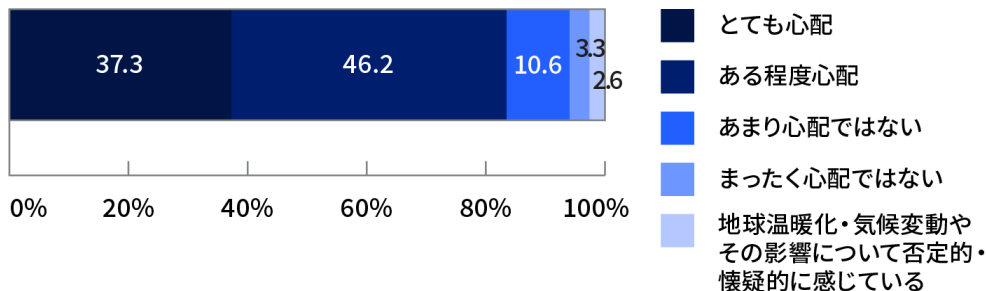
<調査方法>

対象：東京都在住の1000人を対象に18～79歳男女で10代刻み
 地域：東京都
 方法：グリーンピースが楽天インサイト株式会社に委託してオンラインで実施
 時期：2024年6月27日（木）～2024年7月2日（火）
 有効回答数：1000人

<調査結果>

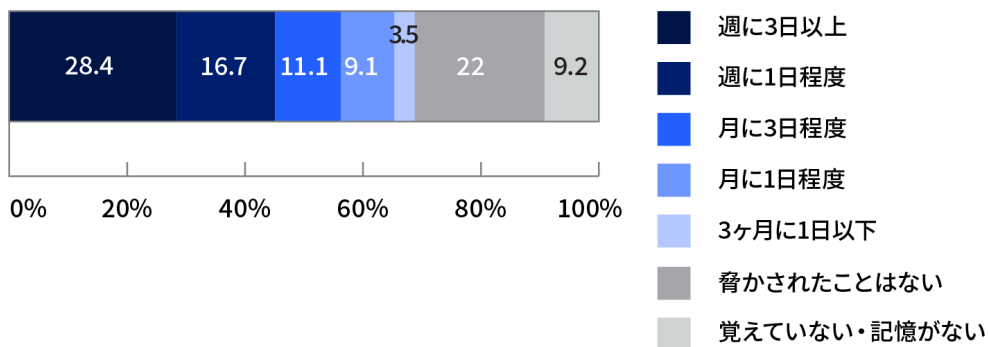
1. 東京都民に地球温暖化・気候変動の影響についてどう感じているか聞いたところ、「**とても心配**」「**ある程度心配**」を合わせて**83.5%**が心配していることが明らかになった。

図1. あなたは、地球温暖化・気候変動の影響についてどう感じていますか？



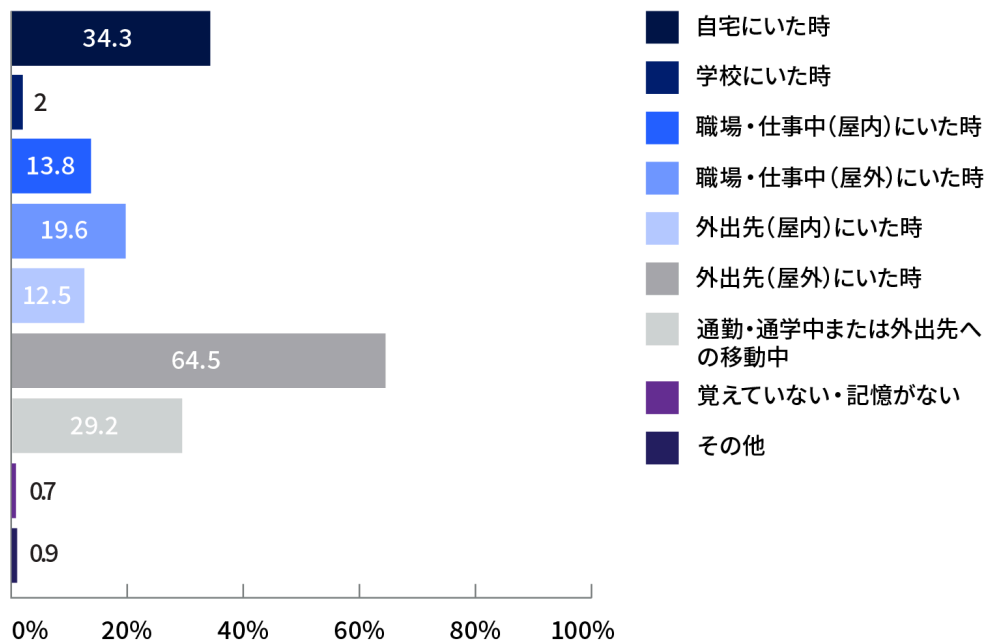
2. 猛暑・熱中症によって健康を脅かされていると感じる頻度について聞いたところ、「**週に3日以上**」と回答した人が**28.4%**と、**そのほかの頻度と比べて最多**となった。

図2. 2023年の熱中症による救急搬送は東京都が7,325人と全国では最多を記録しました。あなたは猛暑・熱中症によって健康を脅かされていると感じる機会は夏の間どの程度ありますか？



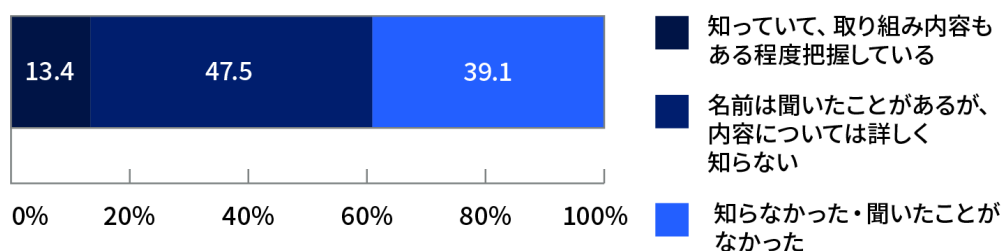
3. 前問で猛暑・熱中症に脅かされていると答えた人に、脅かされたと感じた時について聞いたところ、「外出先（屋外）にいた時」と答えた方が最も多く64.5%だった。「自宅にいた時」が34.3%と2番目に多かった。

図3. 前問で、「猛暑・熱中症によって健康を脅かされている」と答えた方に質問です。どのような時に、脅かされたと感じましたか？（いくつでも）



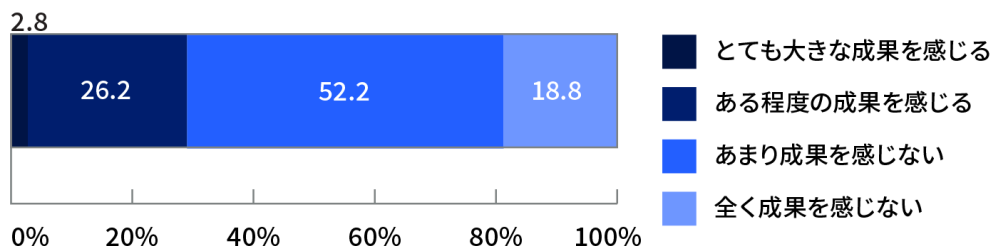
4. 東京都が宣言し、取り組んでいる「ゼロエミッション東京」の認知度を聞いたところ、「名前は聞いたことがあるが、内容については詳しく知らない（47.5%）」、「知らなかった・聞いたことがなかった（39.1%）」を合わせると86.6%となり、「ゼロエミッション東京」の取り組みについての認知度はあまり高くない結果となった。

図4. 東京都では、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロに貢献する「ゼロエミッション東京」を実現することを宣言し、取り組みを行なっています。この取り組みについて、あなたはご存知でしたか？



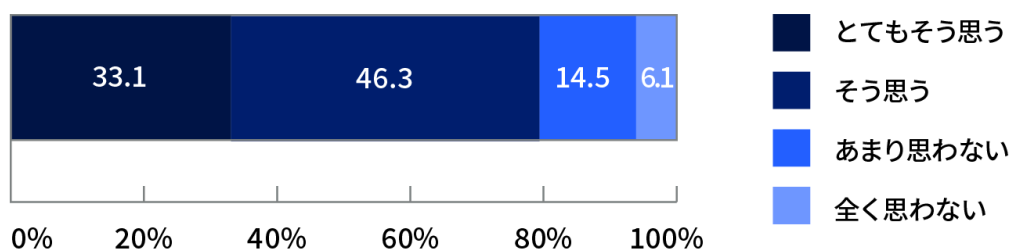
5. 「ゼロエミッション東京」で取り組まれている、食品ロスや使い捨てプラスチックの削減対策に関して、過去5年程度で成果を感じるか聞いたところ、「あまり成果を感じない」が52.2%で最多となり、認知度と同様に、成果を実感している人が少ないことがわかった。

図5. 東京都の気候変動・温暖化対策である「ゼロエミッション東京」では、食品ロスや使い捨てプラスチックの削減などの取り組みも行われています。これらに関して、あなたは暮らしの中で過去5年程度で成果を感じますか？



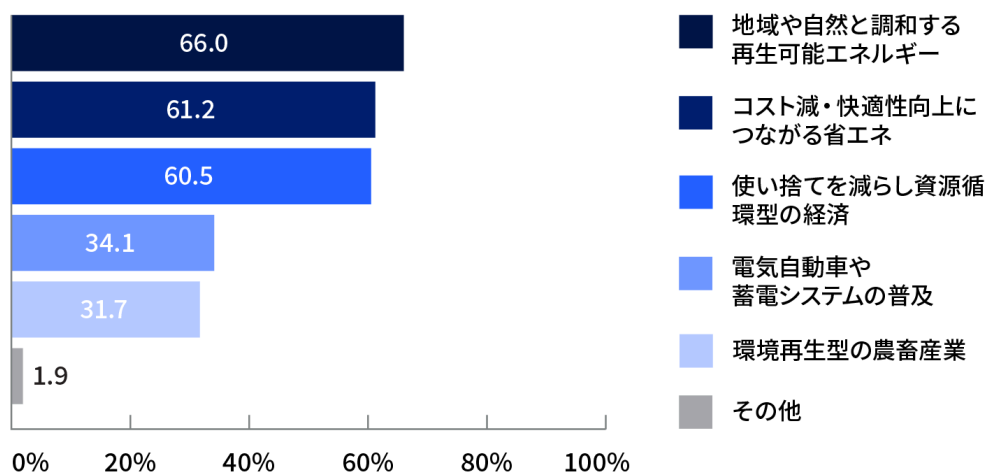
6. 気候変動・温暖化による影響・被害をできる限り低く抑えるために、今よりさらに気候変動対策を進めてほしいか聞いたところ、「とてもそう思う」(33.1%)「そう思う」(46.3%)合わせて79.4%となり、「あまり思わない」(14.5%)「全く思わない」(6.1%)の合計よりも多い結果となった。今よりさらに気候変動対策を進めてほしいと思っている人が多いことがわかった。

図6. 気候変動・温暖化による影響・被害をできる限り低く抑えるために、今よりさらに気候変動対策のための政策を進めてほしいと思いますか？



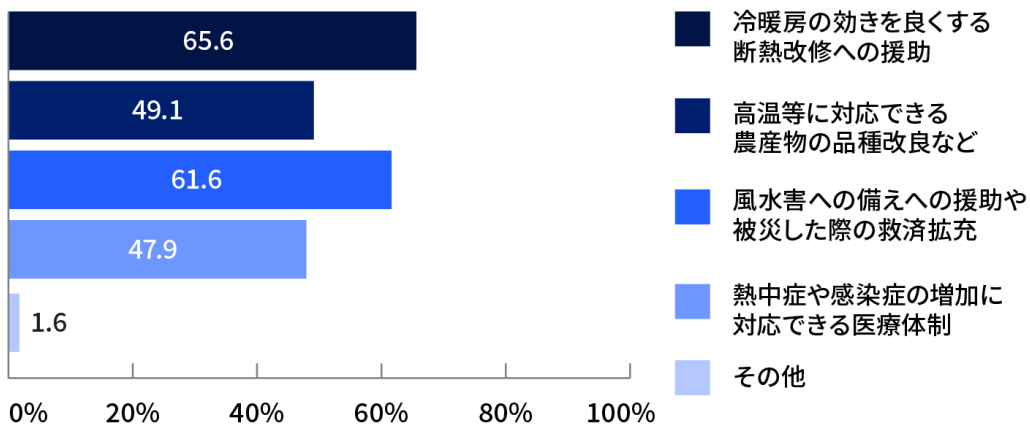
7. 前問で今よりさらに気候変動対策を進めてほしいと答えた人に、どんな気候変動・温暖化政策を進めてほしいか聞いた。まず緩和政策(気候変動の原因となる温室効果ガスの排出量を減らす政策)について聞いたところ、「地域や自然と調和する再生可能エネルギー」が最多で66.0%、次いで「コスト減・快適性向上につながる省エネ」(61.2%)「使い捨てを減らし資源循環型の経済」(60.5%)が多い結果となった。

図7. 前問でとてもそう思う、そう思うと回答した方にお伺いします。どんな気候変動・温暖化政策を進めてほしいですか？緩和政策(気候変動の原因となる温室効果ガスの排出量を減らす政策)について、いくつでも選んでください。



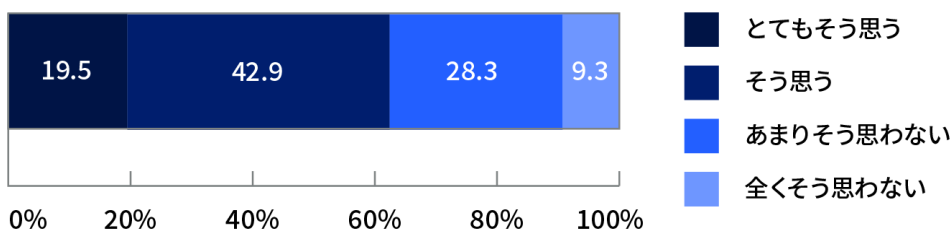
8. 今よりさらに気候変動対策を進めてほしいと答えた人に、どんな気候変動・温暖化政策を進めてほしいか聞いた。次に適応政策（すでに生じている、あるいは将来予測される気候変動の影響による被害を避けたり減らしたりする政策）について聞いたところ、「冷暖房の効きを良くする断熱改修への援助」が最多で65.6%、次いで「風水害への備えへの援助や被災した際の救済拡充」（61.6%）とそれぞれ6割を超えた。「高温等に対応できる農産物の品種改良など」（49.1%）や「熱中症や感染症の増加に対応できる医療体制」（47.9%）もそれぞれ半数近くの方が求めていることがわかった。

図8. 先程とてもそう思う、そう思うと回答した方にお伺いします。どんな気候変動・温暖化政策を進めてほしいですか？適応政策（すでに生じている、あるいは将来予測される気候変動の影響による被害を避けたり減らしたりする政策）について、いくつでも選んでください。（いくつでも）



9. 2024年7月7日の東京都知事選において気候変動への対策が重要な課題であると思うか聞いたところ、「とてもそう思う」（19.5%）「そう思う」（42.9%）を合わせると62.4%となり、回答者の6割以上の方が、今回の都知事選において、気候変動対策を重要な課題だと思っていることがわかった。

図9. 2024年7月7日の東京都知事選において、気候変動への対策が重要な課題であると思いますか？



以上

<本件に関するお問い合わせ>

国際環境NGOグリーンピース・ジャパン

広報担当 平井ナタリア恵美 TEL: 080-6558-4446 Email: nataliaemi.hirai@greenpeace.org